神戸新聞 2019年04月19日 金曜日 面名 朝三社 １３ 31ページ

# のぞみ１時間12本に拡大

## 東京―新大阪間、20年春改正

東海道新幹線の「N700A」
＝2013年２月、ＪＲ東京駅

ＪＲ東海は18日、２０２０年春のダイヤ改正で、東京―新大阪間の東海道新幹線「のぞみ」の運転本数を現在の１時間に最大10本から12本に拡大すると発表した。来春、全列車が最高速度２８５キロのＮ７００Ａタイプに統一されることや自動ブレーキの技術改良で可能になった。ひかり２本、こだま３本は維持する。

のぞみの増発は新大阪駅の改良工事完了で、14年春に１時間当たり９本から10本になって以来。

ＪＲ東海によると、12本ダイヤは乗客が集中する金曜夕や連休を中心に組む見通し。東京―新大阪の所要時間は12本とも２時間半以内になる。現行の10本では、３本が２時間半以内、７本が２時間33～37分だった。

Ｎ７００Ａタイプへの一本化は、１９９９年デビューで最高速度２７０キロの７００系車両が２０１９年度中に引退することに伴う。自動ブレーキの改良で、列車が停止するまでの時間を短縮。東京駅に入る上り列車が、下りに折り返す作業をよりスムーズにすることで、２本を増発する余裕ができた。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名 前【　　】

① 東海道新幹線は何駅と何駅の間を走っていますか。

［　　駅］と［　　駅］の間

② １時間に最大１２本に拡大すると、「のぞみ」は計算上何分おきに東京駅を発車することになりますか。

［　　分おき］

③ ２０２０年のダイヤ改正で統一されるN700Aタイプの最高速度は何キロですか。

［　　km］

④ １時間に最大１２本「のぞみ」を走らせることができるようになった理由として、全列車をN700Aタイプに統一してスピードアップを図ることと、もう一つ別の理由が書かれています。
その理由を書きましょう。

（　　）